**2011年6月1日～2022年9月30日の間に**

**札幌医科大学附属病院腫瘍内科においてに対して**

**内視鏡治療の治療を受けられた方へ**

―「に対するEUS下ドレナージにおける と (LAMS)との比較検討」へご協力のお願い―

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 土橋　和文

研究責任者 札幌医科大学附属病院 腫瘍内科　助教 吉田真誠

研究分担者 札幌医科大学附属病院 腫瘍内科　診療医 齊藤聖也

１．研究の概要

1) 研究の目的

札幌医科大学附属病院腫瘍内科において手術後のに対して内視鏡の治療を受けられた患者さんで、プラスチックステントを留置した患者さんと金属製のステント( ；LAMS)を留置した患者さんの検査後のCT画像などを調べて、治療の効果や合併症の実態を把握することにより、この治療が患者さんの役に立っているのかを明らかにすることがこの研究の目的です。

2) 研究の意義･医学上の貢献

これまで札幌医科大学附属病院腫瘍内科でに対して内視鏡の治療を受けられた方の結果を把握する事により、現在治療を受けておられる患者さんの検査や追加治療の選択や、今後に対して内視鏡の治療を受けられる患者さんの治療方法、治療後の対応の参考にすることができます。

２．研究の方法

1) 研究対象者

2011年6月1日～2022年9月30日の間に札幌医科大学附属病院腫瘍内科においてに対して内視鏡の治療を受けられた方が研究対象者です。

2) 研究期間

病院長承認後～2023年4月30日

3) 予定症例数

2023年1月1日時点で、20人を予定しています。

4) 研究方法

2011年6月1日～2022年9月30日の間に当院においてに対して内視鏡の治療を受けられた方の通常診療で得られた記録等で、内視鏡治療に関する分析を行います。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 年齢、性別、診断名

・ 血液検査

・ CT画像、内視鏡画像所見

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後1年間、札幌医科大学腫瘍内科学講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理･制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。この研究で得られた情報を新たな研究に用いる可能性はありません。

7) 報の管理について責任を有する者の氏名または名称

札幌医科大学附属病院 病院長　土橋和文

8）研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

9) 研究に関する問い合せ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2023年9月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。ご連絡頂いた時点が上記お問い合せ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。

＜問い合わせ・連絡先＞

札幌医科大学腫瘍内科学講座　助教

研究責任者　吉田　真誠

電話：011-611-2111 内線 32540 (平日：9時～17時)

　　　011-611-2111 内線 32610(10階北病棟　夜間、休日、時間外)

ファックス：011-621-7987